



カフェ・オレンジ通信

アシスト21・ひまわりセンター
認知症支援・介護予防センター

〒802-8560 小倉北区馬借一丁目7番1号
総合保健福祉センター（アシスト21）5F
TEL093-522-8765 FAX093-522-8773

第12号

平成29年8月25日

発行：認知症・草の根
ネットワーク

「カフェ・オレンジ」の新しい動き



「きらりと光る一言集」実行委員会

「きらりと光る一言集」は、「認知症・草の根ネットワーク」が10年前に認知症「本人のこ」とばを、主に事業所で集めてもらい、第2集まで刊行しました。この度、認知症や社会的に弱い立場の方々の支援をしている有志を中心に実行委員会を立ち上げ、少しずつ広報の幅を広げながら、若年性認知症「本人」にご参加頂き「真ん中」で思いを発信してもらおうことも目標にして、およそ2年を目安に活動していくことになりました。最終的には成果物として「きらりと光る一言集」第3集を作成することはもちろんですが、話し合いの中での「きらりと光る」発言や会議の様子を撮影したビデオ映像（85歳のカメラマン大活躍！）とともに、参加者の皆さんの「こうありたい」「こんなことをしてみたい」という思いも大切にしていきたいと思っています。

一方で、今後ますます増えていくであろう、出来得る限り働き続けたい人の受け皿として、どこに、どんな仕事があるのか探していくことも課題です。

「認知症」本人を理解するための活動と、「支援者も含めた生きがいづくり」……。いろいろな意見や思いが、究極のところでは「立場を超えたみんなの幸せ」に深くつながっている…。

1年間「カフェ・オレンジ」の運営を通して「誰にでも居場所が必要」なこと、「少し支えてくれる人がいれば元気が湧いてくる」ことがよく分かりました。その経験が活きる実行委員会の活動になればいいと思っています。

興味をお持ちの方は、「カフェ・オレンジ」
電話093-522-8740へご連絡ください。

「倶楽部オレンG」って？



まずは、この1ヶ月の近況報告。時には「問題提起」もあります。



坂田運動士の指導で、身体をほくして

じわじわと人数が増えている男性カフェマスターさんの交流の場がスタート。その名も「倶楽部オレンG」。「G」の意味はグレート、ジェントルマン、じいちゃん等々。「さらに楽しい場」とポイイスカウト出身のリーダー柴田一夫さんは情報収集に余念なし。カフェマスターに興味をお持ちの男性やオプザーバーでの女性参加も大歓迎！次回は9月6日（水）14時～16時。

学生の番組制作実習に協力！



北九大地域創生学群1年生9名にカフェ・マスターを中心にした大人10名が加わり「食」をテーマにしたラジオ番組制作のための場を設けました。笑顔いっぱいの異世代交流。楽しいひとときに！